

根来山げんきの森だより 172号

根来山げんきの森倶楽部
<http://genkinomori.jp/>

令和2年の干支は 子(ねずみ)です

げんきの森は、お正月4日から開園しています。
1月・2月は、開園時間が9時～16時です。

根来山げんきの森には、様々な植物が根付き、生き物が暮らしています。
この時期、お正月に関係するものとして、鏡餅に飾られるシダ類の「ウラジロ」や、門松に使われる、松、竹、梅、南天、杉の葉などがあります。昔の人たちはこのような、里山で手に入る植物を使ってお正月を迎えていたようです。

干支十二支に関係のある生きものでは、子(ネズミ)、卯(ウサギ)巳(ヘビ)、酉(トリ)、亥(イノシシ)と、5種類も生んでいます。

令和2年は子年。根来山には、赤茶色の体色で体長10cmほどの可愛い姿をしたアカネズミが住んでいます。主食はドングリや根茎など。夜行性なので見かけることは少ないですが、炭焼き小屋周辺などで稀に見ることができます。



アオツツラフジ(ツツラフジ科)



冬の里山に直径5mmほどのブルーベリーのような丸く濃い藍色の実がブドウの房のようにぶら下がっているツルを時々見かけます。

アオツツラフジです。ブドウのようにも見えるので、「美味しいですか」とよく聞かれますが、食べるのはお勧めしません。口にしたら人の話によるとそんなに嫌な味ではないそうですが、アルカロイド系の毒を含んでいるので大量に食べると大変なことになります。

さて、ツルにも木と草があります。フジやアケビのように年輪があって毎年太くなるツルは木。アオツツラフジやヘクソカズラのように年輪がなく、年をとっても太らないツルは草なのです。アオツツラフジのツルは草ではあってもけっこうしなやかで強く、かご編

みなどに使われます。細いので小さくて繊細な籠によく合うツルです。知人に自然薯掘りが趣味の人がいるのですが、彼は大きな自然薯を掘ると、数本のササの軸を添え、このアオツツラフジのツルでしっかり縛って折れないようにして持って帰ります。このツルじゃないとしっかり縛れないのだそうです。

アオツツラフジでもう一つ面白い話題をご紹介します。冒頭の藍色の実を見つけたら、ぜひ中から種を取り出してみてください。きれいに洗って、よく観察すると、なんとアンモナイトにそっくり。どうしてこんな形になる必要があるのかよくわかりませんが、生物の世界には全く別の種類なのによく似てしまうという現象があるのです。どこかに共通の合理性があるのでしょうか。

アオツツラフジは雄の株と雌の株があるので実が付くのは雌の株。管理車道の途中に、毎年実をつけてくれる雌株がぶら下がっています。探してみてください。



令和元年11月 作業日誌

活動日：令和元年 11 月 17 日 天気：晴れ
倶楽部員 32 人 和大学生 18 人

今月は和歌山大学からお手伝いが 18 名。

若干の高齢化が見られる倶楽部員にとって、若い力は頼りになります。いつもより、元気いっぱいみなさん作業がはかどりました。

【もみじ谷石積み】9:30～15:00

現場はもみじ谷沢小屋近くの歩道。クラブ員 3 名(H さん、A さんと私) と和太からの助っ人 8 名(学生 4、職員 4) の計 11 名で、この夏の大雨で崩落した路肩の修復作業に取り組みました。

長年歩道を支えてくれていた直径 20cm ほど、長さ 30m 近くあるヒノキなど横木 3 本と鋼杭を撤去したあと、崩れた土砂をクワやスコップで取り除き、床面を整地して砕いた石で底を固めました。固めた床面に四角錐状の石(間知石)を面が揃うように並べ、隙間に小さな石や土を詰めて棒でコツコツ叩き込んで固定させる…と言うのが、大まかな作業内容です。狭い上、粘土質の土に足を取られるハードな作業でしたが、各々が持ち場を作りチームワーク良く楽しく頑張って、1 段目の石を 6 個ほど据えたところで作業を終了しました。

特筆すべきは、女子学生のパワー。30kg 以上はあるかと思う石を、けっこう簡単にスムーズに運ぶのにはビックリ!!、聞けばソフトボール部でピッチャーをしていたとか…腕や手首の使い方、腰への力の入れ方にコツがあるのだそうです。勉強になりました。

【巣箱設置】9:30～15:00

【野鳥巣箱取り付け】9:30～15:00

本日の作業は、昨年取り付けした巣箱を清掃して再び各地の場所に取り付ける作業です。

和歌山大学の学生さんが多数ボランティアで応援に来て頂き、そのうち女性 2 名が手伝ってくれ、倶楽部員と合わせて 6 名で作業を行いました。

取り付け場所は、毎年巣立ち率 100% の管理棟と工房ほかの軒下に 4 個、東展望のログハウスの軒に 1 個です。人通りのある構造物は外敵が近寄りにくく、野鳥たちにとっては安心して子育てができるので人気(鳥気?)があるようです。

そのほか、手づくりの森に 9 個、第 2 駐車場までの管理車道沿いに 1 個、ふれあいの森遊歩道に 8 個、沢小屋に 1 個、管理棟東側の尾根筋に 4 個取り付けしたので、巣箱づくりイベントの日に取り付けた 7 個と合わせて、今年は全部で 35 個の巣箱を取り付けました。なお、R 元 .11.9 の野鳥観察と巣箱づくりイベントには 8 家族 21 名のみなさんに参加していただき、8 個の巣箱を作り、管理棟の裏山に 4 個、手づくりの森尾根に 3 個取り付けました。

昨年取り付けした巣箱 30 個の営巣結果は次の通りです。
巣立ち 14 個(46.7%) 放棄 6 個(20%) 空 10 個(33.3%)
人通りのあるにぎやかな場所の萌芽巣立ち率が高く、安心して子育てができる様子を垣間見ることができました。
来年の取り外しが楽しみです。

根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- 12 月 7 日(土) 9:00～ 根来街道グリーンツリーズム
(紀泉わいわい村クラフト)
- 11 日(水) 13:30～ 「山菜・きのこサロン」
一乗閣にて
- 15 日(日) 9:30～ 定例活動
- 18 日(水) 9:30～ 植生調査
- 22 日(日) 9:30～ 近大貸山
- 27 日(金) 9:00～ 大掃除
- 28 日(土)～1 / 3 日(金) 閉園
- 1 月 4 日(土) 13:00～ 自然観察会
16:00～ 運営会
- 19 日(日) 9:30～ 定例活動
- 25 日(土) 9:30～ 竹細工同好会
- 31 日(金) 9:30～ 七草餅つき準備

それぞれの活動のお問い合わせ、申込みは事務局または管理棟(Tel&FAX 0736-61-7233)まで。火曜定休日
事務局 E-mail: forest-o@ares.eonet.ne.jp



根来山げんきの森 12 月・1 月の催し

1 / 4 (土) 自然観察会

12 月上旬には、記録的な暖かい日もありましたが、やっとな冬らしい季節になってきたようです。

新年の森を倶楽部員と一緒に歩いてみませんか?

日時：1 月 4 日(土) 13:00～15:00

参加費：200 円(小学生以上)

申し込み：当日でも結構です。管理棟へ。

昆虫調査隊員募集中：基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は毎月第 2 日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

倶楽部員募集中：私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。

ふれあいの森プレーパーク

1 / 5・2 / 2 (お休み)

プレーパークは例年通り、1 月・2 月はお休みします。3 月からの活動をお楽しみに!